

【実務者向けプログラム】

令和3年度

ERABサイバーセキュリティトレーニング ご案内資料

令和4年1月

独立行政法人情報処理推進機構

産業サイバーセキュリティセンター

テーマ

VPPの社会実装を見据えた、ERABにおけるサイバーセキュリティ対策

対象者

ERAB事業者(AC, RA)において、

- 対策を検討し、立案・実施する実務者の方
- 対策の導入・実施を判断する責任者の方

※AC:Aggregation Coordinator RA:Resource Aggregator

開催日程・場所

下記の3日間で本トレーニングを構成しています(全日程にご参加いただきます)

- 2022年2月25日(金) オンライン開催 (Microsoft Teamsを利用予定)
- 2022年3月11日(金) 集合開催 (東京都文京区本駒込2-28-8 文京GC 8F)
- 2022年3月25日(金) 集合開催 (東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX内)

受講料・定員

- 受講料:20万円(税込) ※受講料には、交通費・食事代は含みません
- 定員 :40名 ※定員になり次第、募集を締め切らせて頂きます

本トレーニングの内容



- ◆ **ガイドライン編(1日;オンライン開催)**
 - 電力分野のサイバーセキュリティの概要
 - ERABセキュリティガイドライン及びCPSF等の解説

- ◆ **リスク分析・対策事例編(1日;集合開催)**
 - ユースケースに基づいたリスク分析手法の解説
 - ERABセキュリティガイドライン及びCPSFに準拠したERABシステムセキュリティ対策事例
 - リスク分析実施例の実演
 - 詳細対策要件の検討(グループワーク)

- ◆ **模擬プラント編(0.5日;集合開催)**
 - 実機を用いた実演(デモ)を中心とした演習

本トレーニングの位置付け



本トレーニングは、ERABサイバーセキュリティガイドライン3.6.において、ERAB事業者に求められるサイバーセキュリティ対策に対応する教育プログラムとして開発したものです。

3.6 ERABシステムにおけるサイバーセキュリティ対策

【勧告】ERABに参画する各事業者は、ERABシステムでは、以下の手順を踏むこと

Step1	対象とするIoT 製品やサービスのシステムの全体構成及び責任分界点を明確化すること
Step2	システムにおいて、保護すべき情報・機能・資産を明確化すること
Step3	保護すべき情報・機能・資産に対して、想定される脅威を明確化すること
Step4	脅威に対抗する対策の候補(ベストプラクティス)を明確化すること
Step5	どの対策を実装するか、脅威レベルや被害レベル、コスト等を考慮して選定すること
Step6	第三者による監査(認証を含む)や 教育プログラム 等によって勧告指定項目を中心にその実装を検証すること
Step7	事故発生時の対応方法を設計・運用及び訓練すること

(出典)ERABに関するサイバーセキュリティガイドライン Ver2.0

<https://www.meti.go.jp/press/2019/12/20191227004/20191227004-1.pdf>

(参考)第13回ERAB検討会ERABサイバーセキュリティガイドラインの対策例等の策定

https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/energy_resource/pdf/013_04_01.pdf

スケジュール1日目(予定)



日程	時間	概要
2022年 2月25日(金) ガイドライン編 (オンライン)	10:00～12:00 (質疑応答及び 休憩時間を 含みます)	電力分野のサイバーセキュリティ脅威に関する現況の解説
		電力分野に関連するサイバーセキュリティ規制・ガイドライン類の概要解説
	12:00～13:00	昼休み
	13:00～17:00 (質疑応答及び 休憩時間を 含みます)	ERABサイバーセキュリティガイドラインの解説
		サイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワーク(CPSF)の解説
		CCRC技術参考報告書の解説
		ガイドラインに関する理解度確認
	ガイドラインに関する理解度確認の解説及び質疑	

スケジュール2・3日目(予定)



日程	時間	概要
2022年 3月11日(金) リスク分析・ 対策事例編 (東京都文京区)	10:00～12:30 (質疑応答及び 休憩時間を 含みます)	ERABシステムのリスク分析概要
		脅威や脆弱性を検討・評価する手法の解説
		ERABシステムにおける対策例の解説
	12:30～13:30	昼休み
2022年 3月11日(金) リスク分析・ 対策事例編 (東京都文京区)	13:30～17:00 (質疑応答及び 休憩時間を 含みます)	ERABシステムに想定されるリスクシナリオ(ユースケース)
		ユースケースに基づくリスク分析の実演
		詳細対策要件の検討(グループワーク)
2022年 3月25日(金) 模擬プラント編* (東京都千代田区)	10:00～13:00	実機を用いた実演(デモ)を中心とした演習 (質疑応答及び休憩時間を含みます)
	14:30～17:30	

*模擬プラント編は、AM/PMのいずれかに参加いただきます。

申込みにあたっての留意事項



- 「模擬プラント編」については、AM/PMの2回に分けて実施しますが、いずれも内容は同一です。受講申込書にてご都合がよい時間帯を記載願います。
 - ※ 各回の定員は20名で先着順にて承ります。20名を超えた場合は、ご希望に沿いかねますことをご了承下さい。
 - ※ 記載がない場合は、主催者側で振り分けさせていただきますので、ご了承下さい。
- 全ての日程を受講され、かつ内容を理解したと確認された方には、受講証明書を発行します。

受講証明書には、受講者氏名、受講者所属組織名及び一意な受講証番号を記載しますが、所属組織名の記載が不要の方は、受講申込書にてお申し出ください。

受講にあたっての留意事項



- オンライン開催の「ガイドライン編」については、「Microsoft Teams」を利用しインターネット経由で実施予定です。視聴のための機材（PC等）及び通信環境（通信速度3.0Mbps以上推奨）につきましては、受講者にてご準備願います。
なお「Microsoft Teams」は主催者側で準備し、接続先URLを発行いたします。
- 受講者ご本人以外の参加・共有、及びトレーニングの録画はご遠慮いただきますよう、お願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染防止対策のため、集合開催時にはマスク着用をお願いします。対策の詳細については「[新型コロナウイルス感染症防止対策のご案内について](#)」をご確認ください。
- 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、集合形式での実施を中止し全て「[オンライン実施](#)」とします。その場合は、開催2週間前を目途にご案内いたします。

お申し込み先・お問い合わせ先



受講申し込み期間

受講申込は、2022年2月10日(木)までと致します。(募集定員に到達し次第、募集を締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。)

お申し込み方法

WEB上の受講申込書に必要事項を記入して頂き、メールにてPDFを送付ください。
※お申込みいただきましたら、担当者よりご連絡差し上げます。

お問合せ先： 03-5978-7554(直通)
 coe-promotion-info@ipa.go.jp

担当者： 九嶋/北村

URL： <https://www.ipa.go.jp/icscoe/program/short/erab/2021.html>

※原則として、納入後の受講料はキャンセルされる場合でも、返金は致しかねますので予めご了承ください。
※受講料請求書は押印省略で発行します。押印希望の方は、申込時にご連絡ください。

【個人情報の取り扱いについて】

弊機構は、本プログラムの申込のためにご提出頂いた個人情報の適切な管理に努めております。ご提供頂いた個人情報は、本プログラムを提供するために必要な範囲(事務処理および講師への当日受講者リストの配布等)で利用させていただきます。個人情報保護についての詳細は下記のページをご参照ください。<https://www.ipa.go.jp/about/privacypolicy/index.html>